

令和3年9月17日

東京都千代田区四番町5番地3

科学技術振興機構（JST）

Tel : 03-5214-8404（広報課）

URL <https://www.jst.go.jp>

対話を重視する「サイエンスアゴラ2021」をオンライン開催 科学技術イノベーションに対する社会からの要請を受け止める場に

JST（理事長 濱口 道成）は、「サイエンスアゴラ2021」を令和3年11月3日（水・祝）から7日（日）の5日間、オンラインで開催します。また、今年創設の「デジタルの日」（10月10日（日）と11日（月））の2日間は「プレアゴラ」を開催し、デジタルの日に関わる企画を行います。

<テーマは“Dialogue for Life”>

第6期科学技術・イノベーション基本計画（以下「第6期基本計画」）には、社会からの要請に応じて、科学技術が社会をより良く変える好循環が描かれています。日本が目指す社会、すなわち、一人ひとりの多様な幸せを実現しつつ、国民の安全と安心を確保する持続可能で強固な社会を作るには、科学技術に対する人々の期待や不安を受け止めるための対話が欠かせません。私たちの“Life”（生命・暮らし・人生）は、新型コロナウイルス感染症による危機にさらされ続けています。人や社会と科学技術の接点について考えを深め、さまざまな問題を知り、対応策を講じるため、科学技術コミュニケーションの重要性が再認識される中、サイエンスアゴラはこれまで以上に対話を重視し、おのこの知恵を持ち寄る「総合知」により未来を考える場を提供します。

<デジタルの日にちなんだ7企画を実施するプレアゴラ、日本科学未来館では科学コミュニケーターによる関連イベントを実施>

サイエンスアゴラに先立ち、「2021年デジタルの日」の10月10日、11日には、社会課題解決の糸口となる科学技術・デジタル技術を見つける企画や、ゲームを通じてSTEAM教育の可能性を考えるワークショップなど、デジタル要素を含む7企画を実施します。人工知能で偽物を創り出すディープフェイクに関する国際セッション（オンラインでの体験会を含む）や、リアルとバーチャルが混在するサイバー万博のトークショーを通じ、未来社会へのイメージを明確にできるでしょう。日本科学未来館では、科学コミュニケーターによるデジタル関連の企画が複数予定されています。

<川田 十夢 氏が最新技術を教育に取り入れる企画会議のファシリテーターに>

未来開発ユニット「AR三兄弟」の長男として数々のクリエイションを手がける川田 十夢 氏を迎え、出展者とともに最先端の映像技術を用いるオンライン科学実験の企画会議を実施します。これには、一見難しそうに感じられる科学技術に親しみを持って接するにはどのような仕掛けが必要か、社会と科学技術の関係を深める方策を市民の声を聞きながら考えたいという狙いがあります。



川田 十夢 氏

＜未来を考えるための「対話」がポイント、11企画が注目企画に＞

サイエンスアゴラ2021では、プレアゴラを含めて実施される全ての企画が公募により選出されており（主催者企画を除く）、100件超の企画を通じ、科学に関わる人々が、コロナ禍においてどのような社会の変化やトピックに関心を寄せているかを概観できます。今年は来場者と出展者が対話してともに考える企画を公募し、サイエンスアゴラ2021推進委員会でも、対話重視の姿勢を中心に据えて注目すべき11企画を選定しました。各企画で話し合った未来像は、その企画の出展者によってレポートにまとめられ、後日公開されます。各レポートに目を通すことで、社会が何を求めているかの一端を読み取れます。



＜主催者企画：SDGs達成に向け、豊かさの偏在、社会の分断などの課題を再考＞

第6期基本計画で掲げるSociety 5.0の実現に際しては、持続可能な開発目標（SDGs）を意識しながら、国内外を問わず、多様な価値観を持つ関係者との対話や協働を推進していく必要があります。JSTが実施する研究開発プログラムと連携した企画や、各国共通の社会的課題を取り上げた企画を実施し、国内外の識者とともに、科学技術が果たすべき役割を幅広い視点で議論します。

＜公募企画から併催・連携企画まで、サイエンスアゴラから広がる「対話の場」＞

サイエンスアゴラは、家族で科学に親しめる企画のほか、研究者と当事者で課題の解決に取り組む企画も重視しています。東日本大震災を含めたさまざまな災害を経て、科学技術が当事者にどう寄り添えるのかを考察する企画も複数実施され、コロナ禍における科学技術コミュニケーションの役割を改めて考える契機ともなるでしょう。このような「対話」を重視する姿勢に賛同いただく機関は年々増加しており、複数の企画が併催・連携・協賛・後援により実施されます。

＜サイエンスアゴラ2021開催概要＞

形式： オンライン開催（ライブ配信（事前登録制）、オンデマンド配信。ライブ配信は実施後にオンデマンド配信に切り替わる企画があります）

プレアゴラ： 10月10日（日）・11日（月）（デジタルの日に関わる企画を実施）

サイエンスアゴラ： 11月3日（水・祝）から7日（日）

※ 詳細は順次、特設サイトにて公開

【特設サイトURL】 <https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2021>

＜添付資料＞

別紙：サイエンスアゴラ2021について

＜お問い合わせ先＞

科学技術振興機構 「科学と社会」推進部

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

坂内 千浩（バンナイ チヒロ）

Tel：03-5214-7493

E-mail：agora@jst.go.jp



サイエンスアゴラ2021について

「サイエンスアゴラ」は、科学と社会をつなぐ日本最大級のオープンフォーラムです。あらゆる立場の人たち（市民、研究者、専門家、メディア、産業界、政策決定者など）が対話、協働し、それを政策形成や知識創造へ結びつける「共創」のプラットフォーム構築を推進しています。

テーマ “Dialogue for Life”

ウィズコロナの暮らしが始まって1年、私たちをとりまくLife（生命・暮らし・人生）は、いまだ危機にさらされ変容を余儀なくされています。そんな中、科学は社会に対し何ができるのか、安心して豊かな社会のための科学はどのようなものか、私たちが科学に求める役割について改めて考えてみる必要があります。そのため、今年のサイエンスアゴラはこれまで以上に「対話」を重視します。さまざまなトピックを、さまざまなLifeの軸で語り、意見を交わし、科学技術の役割や未来像をともに描きましょう。

<サイエンスアゴラ2021 開催概要>

- 日 時： プレアゴラ：10月10日（日）・11日（月）
サイエンスアゴラ：11月3日（水・祝）から7日（日）
- 開催形態： オンライン開催（ライブ配信（事前登録制）、オンデマンド配信。ライブ配信は実施後にオンデマンド配信に切り替わる企画があります）
- 特設サイト： <https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2021>
- 参加費： 聴講無料（一部、材料など参加者に用意いただく企画があります。通信料は聴講者のご負担となります）
- 主 催： 国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）
- 協 賛： 旭化成株式会社、エルゼビア・ジャパン株式会社、株式会社学研ホールディングス、日本電気株式会社、日本電信電話株式会社、Wiley（五十音順）
- 特別協力： スイス大使館
- 協 力： 株式会社フジテレビジョン、国立大学法人 京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab
- 後 援： 内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省、日本学術会議、一般社団法人 日本経済団体連合会、一般社団法人 国立大学協会、日本私立大学団体連合会、国立研究開発法人 理化学研究所、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
- グローバルパートナー： アメリカ科学振興協会（AAAS）、中国科学技術協会（CAST）、南アフリカ共和国科学技術・イノベーション省（DSI）、ユーロサイエンス（EuroScience）、韓国科学創意財団（KOFAC）

プレアゴラを含めたサイエンスアゴラ2021の、多様な企画の一部を紹介します（いずれの企画も、企画タイトル、登壇者などが変更になる場合があります）。参加の事前登録は企画実施の1か月前を目安にサイエンスアゴラ公式サイトで受付を開始します。

サイエンスアゴラ2021推進委員会[※]が選んだ注目企画

脳科学とテクノロジーの融合 夢の中で税金を支払える？

ブレインテックは脳科学とITが融合する技術で、その社会インパクトは過去に例がないものにな

ると予想されています。ブレインテックが拓く未来の可能性を参加者と共有し、私たちが向かうべき豊かな未来と創造について議論し「脳科学とITによる自在な暮らしと、やさしい社会」「脳直結コミュニケーションの世界」などを考えます。

■日時：11月3日（水・祝）13：00～15：00

■主催：ブレインテックコンソーシアム

生命の根幹を探る～クロマチンアトラスを描く～

「クロマチン構造」は、ヒトなどの生物が生きるために必要な遺伝情報の実体です。がん、生活習慣病、不妊などの疾患に関わることが知られつつあるクロマチン構造研究を、中高生を対象に紹介します。コメントや投票で議論に参加できます。

■日時：11月6日（土）10：00～12：00

■主催：ERATO胡桃坂クロマチンアトラスプロジェクト

もし「未来」という教科があったら、どんな授業??

「未来科」という架空の科目を考える企画です。現役教員が実施した「未来科」の例を共有し、それをもとに、参加者も未来科のシラバスを考えるワークを行います。教育関係者や教員志望の大学生の参加を想定したプログラムです。

■日時：11月3日（水・祝）17：00～19：00

■主催：未来研究プログラム

科学者が考えるレシピは美味しいか?

たんぱく質の研究者はたんぱく質の挙動に詳しいはず。同様に、イカの研究者ならどこに隠し包丁を入れればいいのか知っているはず。ならば、研究対象を知り尽くした科学者が提案するレシピは美味しいのでは? 身の回りにあるものが研究の対象になると、日常に対する視線や姿勢が変わるかもしれません。

■日時：11月6日（土）13：00～15：00

■主催：川田 十夢（AR三兄弟）と科学者たち（佐々木 浩（生物学者）、仲谷 正史（触覚研究者））

いつでも理科をあきらめない! 災害時に途切れない教育セーフティネットワークとは?

日本中どこでも被災地になる可能性があります。小学3年生～中学3年生の理科全単元を網羅する「減災どこでも理科実験パッケージ」の開発や被災地支援で得た知見を共有し、災害後やコロナ禍にも負けない理科教育を考えてみませんか?

■日時：11月6日（土）13：00～15：00

■主催：お茶の水女子大学SEC

光ファイバー地震計が拓く新たな海底地震・津波観測の新展開

光ファイバー地震計は高密度で地震を観測できる技術で、特に海域での地震や津波の予測への応用が期待されています。一方で、多額の税金が投入され、海環境に影響がでる可能性も。投資に見合う効果はあるのでしょうか? 皆さんの意見を聞かせてください。

■日時：11月6日（土）15：00～17：00

■主催：東京大学地震研究所

THE RULE online ～つたえる! つたわる? テレワーク編～

オンラインでオリジナルのボードゲームをプレイします。参加者はコミュニケーションツールを制限されながら「伝え方の工夫」を創出し、ゲームのクリアを目指します。体験を通して「これからのコミュニケーション」を考えます。

■日時：11月7日（日）15：00～17：00

■主催：ゲーム×ワークショップ THE RULE

どうぶつたちの眠れない夜にスペシャル 実験動物編

実験動物とそれに関わる人々は、私たちの見えないところで、私たちを支えています。事前に調査したアンケート結果を、テレビ番組風に分かりやすく紹介しながら、多くの方楽しんでもらえる内容にして対話の場を構成します。

■日時：11月5日（金）19：00～21：00

■主催：どうぶつたちの眠れない夜に

科学の工場見学～科学はどうやって生まれる？～

大気圧や電子工作などの簡単な実験と活動を通じて、科学技術が生み出される際の考え方のプロセスを体験し、日常的な思考と科学的な思考の違いを整理します。科学研究はどのように行われているのか、私たちは科学とどんなふうに関わっていくのがよいかを考えます。

■日時：11月7日（日）13：00～15：00

■主催：うたたね

命のつながりと生物多様性 ～陸と海の豊かさを守ろう～

私たち人間や他の動物は、命を維持するために食料として他の命をいただいています。在来種や外来種の命をテーマに、食物連鎖・さまざまな命のつながりから、人と野生生物との持続可能な関係・共生のあり方を考えます。

■日時：11月7日（日）10：00～12：00

■主催：生物多様性保全協会

海にやさしい陸上養殖サイエンスで美味しく安全なお魚を食卓へ

食とエネルギーの循環社会モデルを構築するには、陸上で養殖を行うこともひとつの方法です。海にやさしい陸上養殖サイエンスを紹介し「海を休ませ、美味しく安全なお魚で楽しい食卓」に向け、こうありたいと思う未来を皆さんと話し合います。

■11月3日（水・祝）15：00～17：00

■主催：琉球大学

※）サイエンスアゴラ2021推進委員会（委員は五十音順）

- 委員長：駒井 章治 東京国際工科専門職大学 工科学部 情報工学科 教授
委員：荒川 敦史 科学技術振興機構 「科学と社会」推進部 部長
委員：齋藤 敦子 一般社団法人 Future Center Alliance Japan (FCAJ) 理事兼ディレクター
委員：サリー楓 株式会社日建設計NAD室 コンサルタント
委員：タカハシ ショウコ インキュビオン株式会社 CEO
委員：根本 かおり 株式会社博報堂 ブランド・イノベーションデザイン局
ストラテジックプランニングディレクター
委員：廣常 啓一 新産業文化創出研究所 所長
委員：南澤 孝太 慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授
委員：宮野 公樹 京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授
委員：森田 由子 科学技術振興機構 日本科学未来館 科学コミュニケーション専門主任
-

プレアゴラ期間中（10月10日（日）・11日（月））の実施企画

ワークショップ：未来のマーク作りで考える2050年

普段の生活で見慣れた「標識」を通して未来を考えるアート作品「Next Signage」の手法を用い、課題解決の方法を考えながら将来の風景に必要なとなる標識をデザインし、具体的な未来

を考えます。考えた標識はサイエンスアゴラ2021の会期中に投票を行い、来場者の皆さんが、どんな未来に興味があるかを明らかにします。

■日時：10月10日（日）10：00～12：00

■主催：博報堂アイ・スタジオ、JSTサイエンスアゴラ事務局

共創型ボードゲーム「Changing」～新感覚のカラフルリバーシ！？～

開発中の共創型ボードゲーム「Changing」が体験できます。身近な色がコマになる新感覚のカラフルリバーシで、色の変化が最後は「音」に変わります。新しいSTEAM教育の可能性を一緒に考えてみませんか？

■日時：10月10日（日）13：00～15：00

■主催：実践女子大学 エデュテイメント研究所

オンラインで科学実験教室を開催しよう！

これまでに、日本国内や世界に向けてオンラインで開催した科学実験教室の内容を紹介します。また、コロナ禍であっても、対面とオンラインを並行しながら実験教室を開催する方法について、情報交換します。

■日時：10月10日（日）15：00～17：00

■主催：藤田 学（岡山県立玉野高等学校 教諭）

リアルとネットを繋ごう ～体験価値のデジタル化～

体験価値をデジタル化しモデル化することで、提供するコトの価値の継続的な向上と進化ができる技術を、サイエンスアゴラ2021Webツアーを例に説明します。コンソーシアムの場における各分野での社会適応事例も紹介します。

■日時：10月10日（日）17：00～19：00

■主催：産業技術総合研究所・人工知能技術コンソーシアム

考古学×情報工学 コクゾウムシを見つけたい！

私たちは、すべての人が土器粘土中のタネやムシを簡単に同定できる技術開発に取り組んでいます。人類の歴史の解明に貢献する未来考古学とコンピューターサイエンスの在り方を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

■日時：10月11日（月）13：00～15：00

■主催：DRAプロジェクト 熊本大学

サイバー万博の役割—デジタル空間におけるアクションの創出について—（仮） 【連携企画】

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に関する取り組みを国内外へ発信するオンライントークイベント「EXPO PLL Talks」をサイエンスアゴラ連携企画として実施します。ファシリテーターは大阪・関西万博PLLクリエイターの齋藤 精一 氏です。

■日時：10月11日（月）15：00～17：00

■主催：2025年日本国際博覧会協会

「ディープフェイク：人間の脳を欺くハイテク・イリュージョン」 スイスの科学（1） 【特別協力企画】

本物とディープフェイク、あなたには違いが分かるでしょうか？ ディープフェイクやデジタルクローン問題はサイバーセキュリティの観点からも深刻化しています。フェイクと本物に、人の脳がどう反応するか、スイスと日本の研究者に聞きます。

■日時：10月11日（月）17：00～19：00

■主催：チューリッヒ大学、国立情報学研究所（NII）、スイス大使館 科学技術部

サイエンスアゴラ2021併催企画、連携企画、協賛各社による出展企画（上記紹介以外）

地球→宇宙→地球、再生医療から生物多様性まで—スイスの科学（2）【特別協力企画】

地球でも宇宙でも行われている再生医療研究、その違いは？ 宇宙から地球の生物多様性を観察すると？ 無重力の世界では何が変わるの？ チューリッヒ大学の専門家が、さまざまな研究を紹介します。

■日時：11月3日（水・祝）17：00～19：00

■主催：チューリッヒ大学、スイス大使館 科学技術部

学研の付録性をAR三兄弟と考える 【協賛企画】

学研が「科学と学習」「自由研究」「大人の科学」とさまざまなカタチで提供してきた付録。科学の付録のレゾナートルとは？ これからの付録のカタチとは？ 学研の編集者とAR三兄弟が「付録性」とその拡張に迫ります。

■日時：11月3日（水・祝）19：00～21：00

■主催：学研

「未来の共感」は“New Commons”から生まれる 【協賛企画】

COVID-19で浮き彫りになった社会の分断の数々。二項対立や分断を克服し、人と社会と地球の持続可能な未来社会を可能にする新しいコモンズ（共有財）の考え方や、その実現に向けた取り組みについてご紹介します。

■日時：11月4日（木）15：00～17：00

■主催：NEC未来創造会議

Fast dissemination of scientific results in the era of COVID: preprints with provenance, reproducibility, and trustworthiness 【協賛企画】

■日時：11月3日（水・祝）15：00～17：00

■主催：Wiley

■言語：英語

未来博士3分間コンペティション2021 【連携企画】

博士課程の学生たちが、3分間という限られた時間で、自身の研究のビジョンと魅力を分かりやすく語ります。あなたの好奇心をかき立てた学生に一票を投じることで、オーディエンス賞が決まります！（投票には事前登録が必要）

■日時：11月3日（祝・水）※オーディエンス参加申し込みは10月初旬より未来博士3分間コンペティション2021公式サイトにて受付

■主催：未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会事務局（代表機関：広島大学）

IVRC2021 (Interverse Virtual Reality Challenge) 【併催企画】

サイエンスアゴラ2019から併催しているIVRCは、昨年、リアルとバーチャルが融合（Interverse）する時代に向けた、さまざまな視点からのチャレンジを募集する内容となりました。学生たちが創り出す新しい時代のVRをご紹介します。

■日時：11月6日（土）※実施時間の詳細は後日サイエンスアゴラ公式サイトに掲載します

■主催：日本バーチャルリアリティ学会 IVRC実行委員会

JSTサイエンスアゴラ事務局のおすすめ企画

サイエンスアゴラ前夜祭：出展者に聞いてみた、企画のココがおもしろい！

サイエンスアゴラに出展する人たちはどんな考えを持って活動をしているのでしょうか。サイエンスアゴラ2021への出展者に、推進委員会の宮野 公樹さん、齋藤 敦子さんが切り込みます。

■日時：11月1日（月）21：30～23：00 ※音声のみ

■主催：JSTサイエンスアゴラ事務局

サイエンスアゴラ2021見どころ紹介

今年これまで以上に「対話」を重視したサイエンスアゴラを実施します。イベントの全体像とおすすめの企画などを、サイエンスアゴラ推進委員会の委員や、スペシャルゲストが語ります。

■日時：11月3日（水・祝）10：00～12：00

■主催：JSTサイエンスアゴラ事務局

科学実験@ポリュメトリックスタジオ作戦会議

最新技術で子どもたちを楽しく熱中させるには？ 人の興味を引く科学実験をきっかけに未来社会を考えることは可能？ 360度から映像・音声の記録ができるスタジオを使った「ポリュメトリック映え」する実験を考える企画会議です。

■日時：11月6日（土）17：00～19：00

■主催：AR三兄弟、JSTサイエンスアゴラ事務局

海・山・人が紡ぐ自然との共生：3. 11を越えた未来へ

「数十年先の自然と共生する未来の暮らし」を見据えて海や山を守り、整えていくには、世代を超えた取り組みが必要です。異なる知恵を共有し、総合知を身につけることにより、次世代の守り人を育成することができます。

■日時：11月7日（日）15：00～17：00

■主催：早稲田大学教育・総合科学学術院

JST各部署からの出展企画（上記紹介以外／開催順）

グローバルサイエンスキャンパス（GSC）「アカデミックセミナー」

■日時：オンデマンド（11月3日（水・祝）～いつでもご覧いただけます）

■主催：科学技術振興機構 理数学習推進部 GSC事務局

めざそう、科学のオリンピック！

■日時：オンデマンド（11月3日（水・祝）～いつでもご覧いただけます）

■主催：日本科学オリンピック委員会

第3回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）表彰式&トークセッション

■日時：11月3日（水・祝）13：00～15：00

■主催：科学技術振興機構

アゴラ市民会議（副題未定）

■日時：11月3日（水・祝）15：00～17：00

■主催：科学技術振興機構 「科学と社会」推進部、日本科学未来館

人とAIとの共生：日本型AIにおける人間中心とは？

■日時：11月3日（水・祝）17：00～19：00

■主催：科学技術振興機構 戦略研究推進部 ICTグループ

STI for SDGs 社会課題解決を目指して

■日時：11月3日（水・祝）19：00～21：00

■主催：科学技術振興機構 「科学と社会」推進部

危機からよりよい社会を創る：歴史と未来をつなぐ対話

■日時：11月3日（水・祝）21：00～23：00

■主催：科学技術振興機構 国際部ワシントン事務所、競争力協議会世界連合（GFCC）

■言語：英語

Towards a Sustainable Future: Collaborations and Investments in Deep Tech（持続可能な社会に向けたディープ・テックにおける協働と投資）

■日時：11月5日（金）15：00～17：00

■主催：科学技術振興機構 国際部シンガポール事務所、エスジーイノベート

■言語：英語

ERATOセッション 私たちの未来を変える情報技術

■日時：11月5日（金）17：00～19：00

■主催：科学技術振興機構 研究プロジェクト推進部

「つくりたい未来」—社会不安の根源を問い直す

■日時：11月5日（金）17：00～19：00

■主催：科学技術振興機構

大学をコアとしたイノベーション・システム再興（仮）

■日時：11月6日（土）10：00～12：00

■主催：科学技術振興機構

対話、たりてますか？ —コロナとこれから—

■日時：11月6日（土）13：00～15：00

■主催：日本科学未来館、大阪大学社会技術共創研究センター

マンガで話すみんなのリアル—中高生SNS編—

■日時：11月6日（土）15：00～17：00

■主催：科学技術振興機構 社会技術研究開発センター（RISTEX）

みんなで語ろうカーボンニュートラルの社会と暮らし

■日時：11月6日（土）15：00～17：00

■主催：科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター（LCS）

2035年のありたい未来社会とは～科学技術×エンパワーメント～

■日時：11月7日（日）10：00～12：00

■主催：科学技術振興機構 未来創造研究開発推進部、「科学と社会」推進部

ジュニアドクター育成塾トークセッション

■日時：11月7日（日）10:00～12:00

■主催：科学技術振興機構 理数学習推進部 ジュニアドクター育成塾事務局

サイエンスアゴラ2021を振りかえる

■日時：11月7日（日）19:00～20:00

■主催：JSTサイエンスアゴラ事務局

審査により選出されたオンデマンド出展企画一覧 ※11月3日（水・祝）から視聴可能
（上記紹介以外、順不同）

Trusted information for medical care: Cochrane systematic reviews（信頼のおける
医療情報：コクラン系統的レビュー）

■Atypoon

■言語：英語

原子・分子をのぞいてみようー身体も地球も原子・分子という暗号でできている！ー

■日本コンピュータ化学会

生きもののしくみを理解するための学修支援ツールの開発

■神奈川工科大学 応用バイオ科学科

想像力と創造力 ～オンラインで見えた？ 今と未来～

■東京都立富士高等学校・附属中学校 科学探究部物理班

C○STEPサイエンスカフェ札幌オンラインの記録

■北海道大学 C○STEP

シャボン玉で科学しよう！

■大阪工業大学 サイエンスアラカルトエコール

ナイスガイの須貝と考える「科学者への一歩目」サイエンスアゴラ特別編

■高エネルギー加速器研究機構 ILC推進準備室

インフラの地域課題を解決せよ！～高専インフラテクコンを紹介！～

■インフラメンテナンス国民会議 市民参画フォーラム

モバイル顕微鏡で探るミクロ世界 光、紫外光による多種多様な観察とその応用

■ライフ・イズ・スモール・プロジェクト

宇宙の生物と対話しよう

■理系の森ラジオ制作チーム

測量ワークショップ「ナスカの地上絵の再現」実践ドキュメンテーション

■九州産業大学 諫見泰彦研究室

カリコー・カタリン博士のmRNAワクチン開発研究

■ハンガリー大使館、ハンガリー科学アカデミー

審査により選出されたライブ配信出展企画一覧（上記紹介以外、順不同、実施後24時間後を目安にオンデマンド配信に切り替え予定の企画を含む）

ゲノム編集トマトから考える食の未来

■日時：11月3日（水・祝）13:00～15:00

■主催：くらしとバイオプラザ21

この手から「新」技術？ひみつの研究道具箱ゲーム

■日時：11月3日（水・祝）13:00～15:00

■主催：東京大学生産技術研究所 松山研究室

みんなで作って考えよう「1万人のシチズンサイエンス」プロジェクト

■日時：11月3日（水・祝）13:00～15:00

■主催：「1万人のシチズンサイエンス」実行委員会

カイコ・シルク～過去・現在・未来をつむぐ

■日時：11月3日（水・祝）15:00～17:00

■主催：樹徳高等学校 理科部

昆虫食学園 ビジョン2021開校！～虫を食べる4人の先生～

■日時：11月3日（水・祝）15:00～17:00

■主催：私立昆虫学園

実務の達人達の知恵をヒントに夢ある未来を考えましょう

■日時：11月3日（水・祝）17:00～19:00

■主催：経営支援NPOクラブ

ゲームで森林保全を学んでみませんか？—Let's enjoy forestry—

■日時：11月3日（水・祝）17:00～19:00

■主催：同志社・瓜生原葉子研究室6期生&ソマノベース

Scienctelling to illuminate and protect the wonders of our world（ナショナルジオグラフィック—科学を伝える）

■日時：11月3日（水・祝）19:00～21:00

■主催：ナショナルジオグラフィック

■言語：英語

博物館×テキスタイル～あなたは何を伝え、残しますか？

■日時：11月3日（水・祝）19:00～21:00

■主催：ACADEMIJAN（CoSTEP16期有志の会）

CancerXJAM 防がん訓練をつくろう アゴラ編

■日時：11月3日（水・祝）19：00～21：00

■主催：CancerX

日欧の科学者たちと国際研究について勉強しよう！

■日時：11月4日（木）13：00～15：00

■主催：駐日欧州連合（EU）代表部

健康ビッグデータと最新科学がもたらす健康長寿社会

■日時：11月4日（木）13：00～15：00

■主催：弘前大学 COI 研究推進機構

がん教育の現状とこれから～理想のがん教育を目指して

■日時：11月4日（木）15：00～17：00

■主催：京都府医大150周年がん教育京都モデルを考える会

プログラミングでSDGs！

■日時：11月4日（木）17：00～19：00

■主催：イエローピンプロジェクト

資源循環型社会への変革～南アフリカでの取り組み

■日時：11月4日（木）17：00～19：00

■主催：南アフリカ共和国大使館

科学技術と文化・教育の社会に対する役割と未来の可能性について考える（仮）

■日時：11月4日（木）19：00～21：00

■主催：2025年日本国際博覧会協会、日本科学未来館

中学生達のチャレンジ～京都の里山から、持続可能な未来に向けて～

■日時：11月5日（金）13：00～15：00

■主催：京都超SDGsコンソーシアム

ジェンダーの視点から「生き方」を語り合おう

■日時：11月6日（土）10：00～12：00

■主催：I-URICフロンティアコロキウム「多様性」分科会

折り紙の手法を使ってユニバーサル・ジョイントを作る

■日時：11月6日（土）10：00～12：00

■主催：慶應技術士会

VRアバター事例からウィズコロナな生き方を考えよう

■日時：11月6日（土）10：00～12：00

■主催：Holographic

絵本で科学実験 ストローハウスで耐震技術に挑戦

■日時：11月6日（土）13：00～15：00

■主催：ニコニコ科学研究所

立場を超えて対話する～新しい科学コミュニティの挑戦～

■日時：11月6日（土）13：00～15：00

■主催：日本版AAAS設立準備委員会

STSステートメント・オンラインサイエンスセッション

■日時：11月6日（土）15：00～17：00

■主催：九州大学

現役V t u b e rと語り合う、V t u b e r技術が描く未来

■日時：11月6日（土）15：00～17：00

■主催：サイエンスコミュニケーター系V t u b e r有志

温暖化時代の雪と私達の暮らし～雪氷研究の最前線から～

■日時：11月6日（土）17：00～19：00

■主催：日本雪氷学会 関東・中部・西日本支部

ここまで来た！核融合エネルギー実現への道～イーター建設の現場から～

■日時：11月6日（土）17：00～19：00

■主催：量子科学技術研究開発機構 核融合エネルギー部門

そもそも放射線って何？生活の中からお答えします！

■日時：11月6日（土）17：00～19：00

■主催：日本原子力研究開発機構

コロナ禍に学ぶ！健康と運動に科学技術の知見を

■日時：11月6日（土）17：00～19：00

■主催：日本技術士会

集合知ネットワーク構築に向けて

■日時：11月6日（土）19：00～21：00

■主催：国際高等研

未来の博士を語りたい ～多様性が生き、誰ひとり取り残さない社会を創るために～

■日時：11月6日（土）19：00～21：00

■主催：北海道大学 Ambitiousリーダー育成プログラム

オンラインコミュニティで生まれる化学反応～十人十色な科学への向き合い方～

■日時：11月6日（土）19：00～21：00

■主催：科学系オンラインコミュニティ理系とくラボ

フラレンプロジェクト：多面体アパートからサイエンスのカタチ

■日時：11月6日（土）19：00～21：00

■主催：LAL-LAL Inc.

コロナ禍で変化・発展した「算数・数学の学びの形」とこれから必要な算数・数学の教育

■日時：11月7日（日）10：00～12：00

■主催：math channel

北極から探ろう！未来の防災サービス

■日時：11月7日（日）10：00～12：00

■主催：北極域研究加速プロジェクト（ARCS II）

世界の海をめぐる流れと私たちの生活

■日時：11月7日（日）13：00～15：00

■主催：日本海洋学会教育問題研究会

シン・サイエンス～情報・AI・ビッグデータが紡ぐ最先端研究～

■日時：11月7日（日）13：00～15：00

■主催：世界トップレベル研究拠点プログラム有志

機械学習を用いた「分類」を体験しよう

■日時：11月7日（日）13：00～15：00

■主催：お茶の水女子大学 伊藤研究室

包括的な災害リスクのプロアクティブアラートに基づくインクルーシブ防災の実現

■日時：11月7日（日）13：00～15：00

■主催：東北大学 災害科学国際研究所

世界を救う！時差ボケや冬季うつ病に効く分子の研究：既存薬再開発でSDGsを考える

■日時：11月7日（日）15：00～17：00

■主催：名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所

社会に役立つ集合知メカニズム

■日時：11月7日（日）15：00～17：00

■主催：集合知メカニズム研究会

ヒトの睡眠・人間の睡眠 —睡眠の未来を考える—

■日時：11月7日（日）15：00～17：00

■主催：ERATO上田生体時間プロジェクト

敷きつめて発見しよう！組み合わせから生まれる多様性

■日時：11月7日（日）17：00～19：00

■主催：日本テセレーションデザイン協会

食用昆虫と共にある未来

■日時：11月7日（日）17：00～19：00

■主催：食用昆虫科学研究会

黒ラブ&本田の科学コミュニケーターいらっしやい！ 2

■日時：11月7日（日）17：00～19：00

■主催：大学の先生芸人黒ラブ教授と本田隆行

COI若手研究者との対話で考える「ワクワク x 地域資源 x SDGs」

■日時：11月7日（日）17：00～19：00

■主催：COI共創形成支援グループ

有明海創生～海の魅力から未来を考えよう！

■日時：11月7日（日）17：00～19：00

■主催：有明海魅力発信サイエンスアゴラ実行委員会（仮称）

以上